

リッセ  
**l i s s e**
S m i l e y  
**片引アウトセット縦枠付**  
**《枠施工用》**

このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

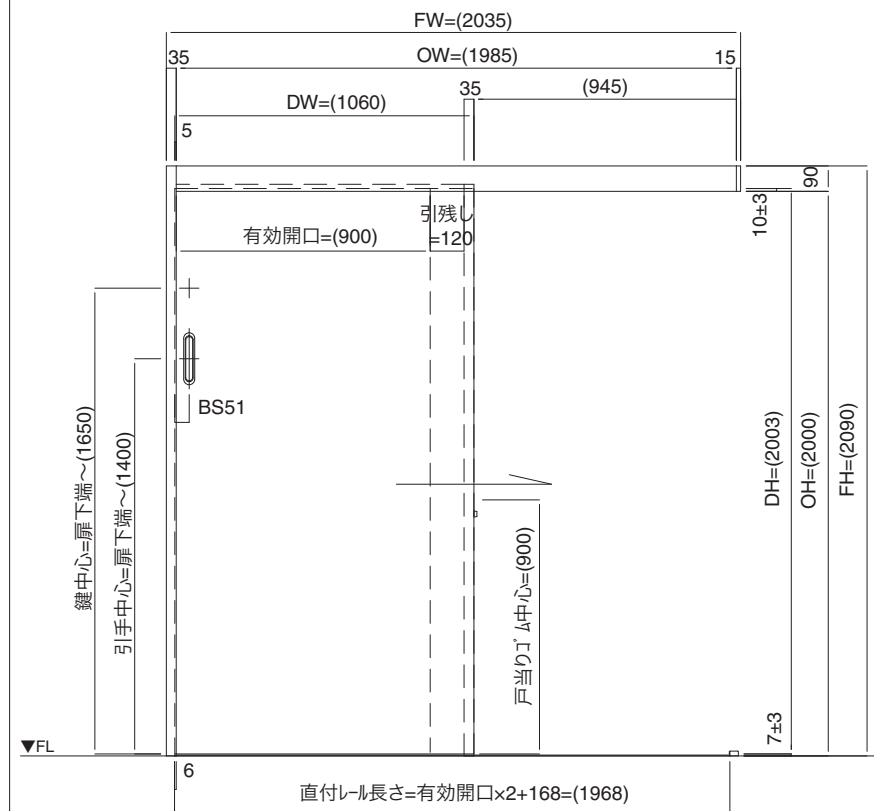
## 施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。

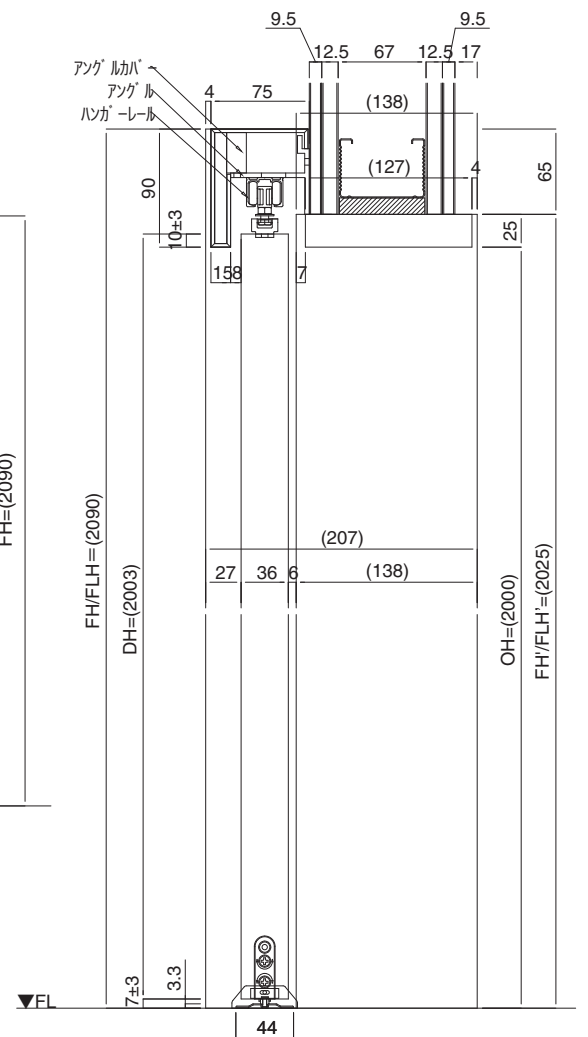
枠 組 包								
縦枠	1			方立枠	1			
上枠	1			妻板	1			
アングル 上レール (仮止め出荷)	1			ハンガーカバー	1			
吊車 (戸先側・戸尻側)	1	 戸先用 (Wソフトクローズ)      戸尻用		ソフトクローズ用 受け金具	2	 戸先側      戸尻側 皿タッピンねじ×2本      ※戸先エッジ クッションの時使用      SUSドリルねじ×3本		
直付レール	1			戸当り	1			
枠組立ビス	4	躯体取付ビス	13	アングル取付ビス		5	直付けレール取付ビス	10
皿木ねじ 4.2×62			トラスタッピンねじ 4×50			皿タッピンねじ 15mm		

## 納まり図

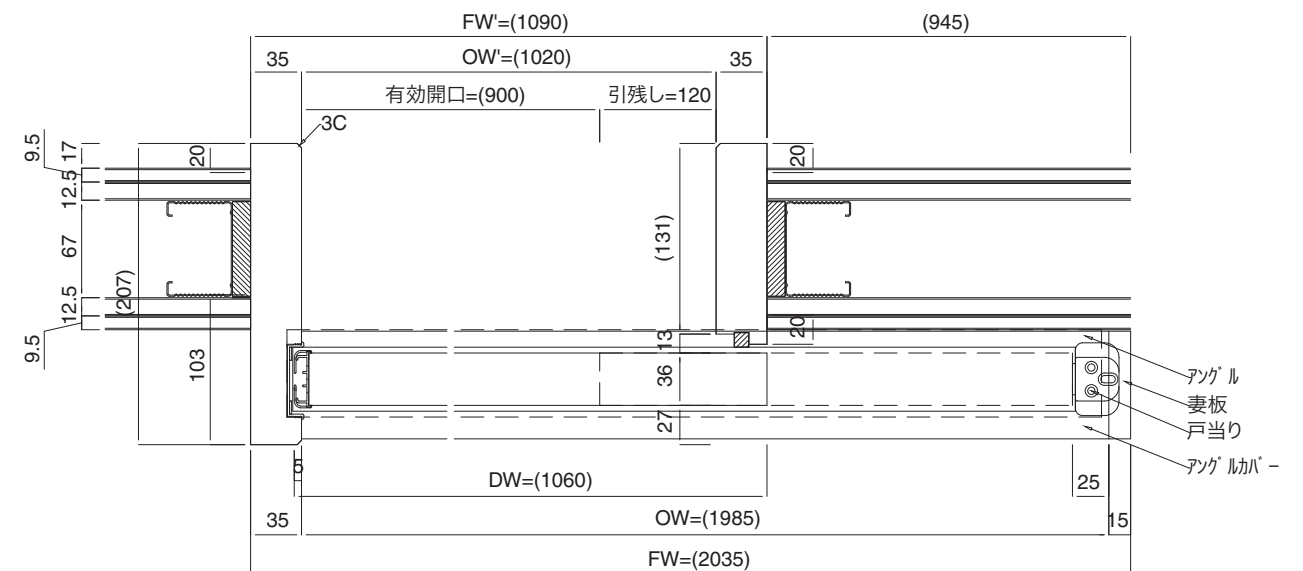
【姿図】



【縦断面図】



【横断面図】

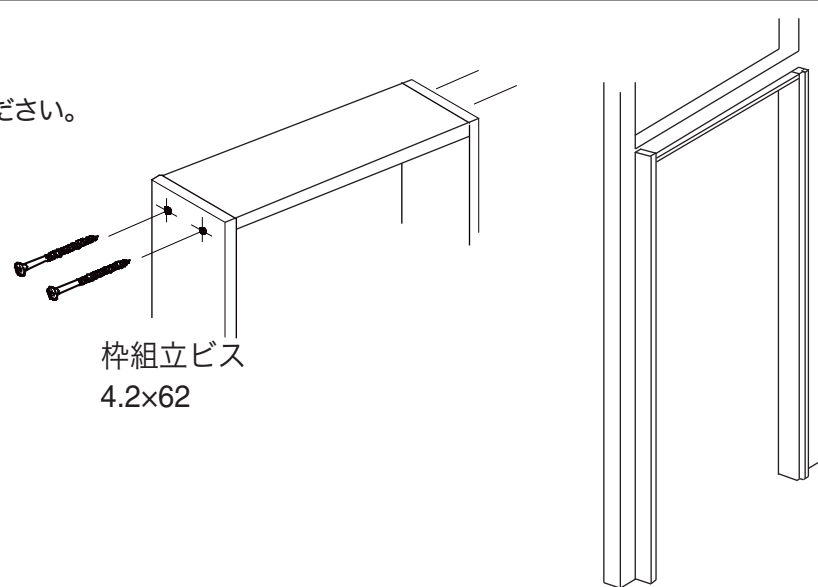


## 1. 枠の組立て・取付け

- ① 枠組立ビスで枠を組み立ててください。  
枠にはビスのリード穴があります。
- ② 躯体取付ビスで枠を躯体に固定してください。
- ◆ 枠組立ビス 皿木ねじ 4.2×62

**注意** 垂直・水平を必ず確認し、ねじれ・傾き・変形などないように施工してください。

**注意** 本品は上吊式なので、扉の荷重で上枠が垂れ下がらないよう、しっかり固定してください。



## 2. アングルの取付け

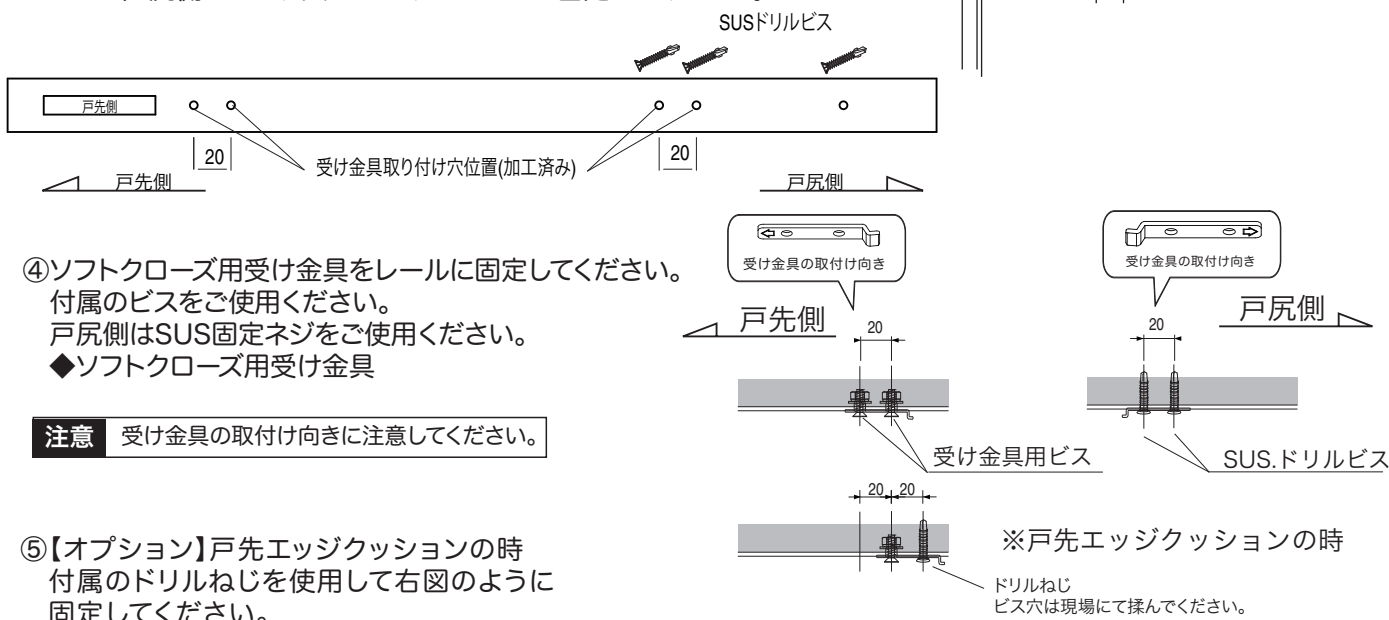
**注意** ハンガーベースレールを壁に取り付けるため、壁下地の補強をあらかじめ行ってください。

- ①あらかじめ、上レールに吊車を挿入してください。  
◆上レール  
◆吊車
- ②アングルをビスで壁に取り付けてください。  
◆アングル取付ビス トラストッピンねじ 4×50

※レールのビスの頭が吊車と干渉しないことを確認してください。

※レール内にゴミやホコリが残っていると、ローラーの動きを妨げたり、異音を発生させる原因となりますのでご注意ください。

- ③仮止めしてあるアングルとレールを本固定してください。  
レール戸尻側のリード穴はSUSドリルビスで固定してください。



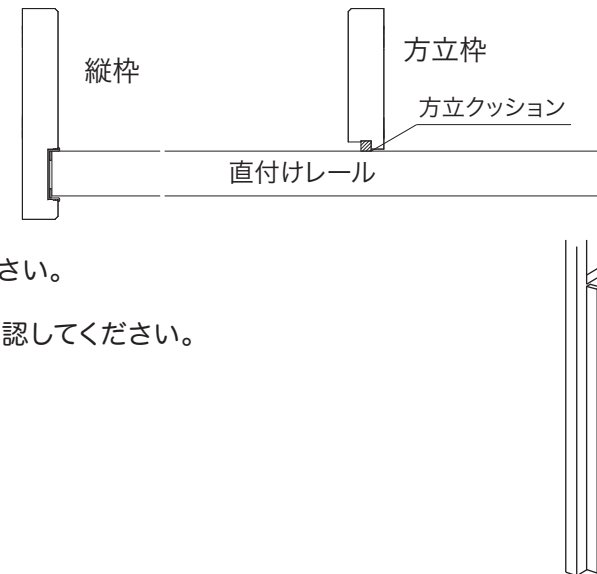
**注意** 受け金具の取付け向きに注意してください。

- ⑤【オプション】戸先エッジクッションの時  
付属のドリルねじを使用して右図のように  
固定してください。

### 3. 直付けレールの取付け

- ①直付けレールを床に取り付けてください。  
付属のビスをご使用ください。  
◆直付けレール

直付けレール取付け位置は、  
右図をご参照ください。



※必ず下穴を空けてからビス止めをしてください。

※レールからビスの頭が飛び出ないことを確認してください。

**注意** 付属のビスは木用です。  
コンクリートに固定する場合は、  
別途現場でご用意ください。

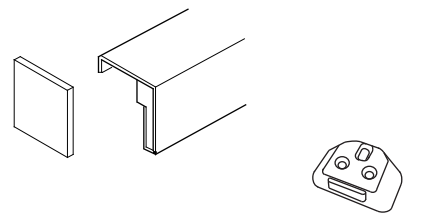
#### 4. 扉の取付け

- ①扉を取り付けてください。扉の取付方法につきましては、扉施工用の取扱説明書をご参照ください。

## 5. 部品の取付け

### 《ハンガーカバー・妻板・戸当りの取扱い》

- ①ハンガーカバー・妻板・戸当りは、扉を吊り込んだ後で取り付けてください。
- ②ハンガーカバーは最終工事となります。  
事前に現場監督様と取付けの役割打合せをお願いします。
- ③ハンガーカバー・妻板・戸当り及び関係部品は、扉の吊込みまで紛失しないよう保管してください。



## 施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆全ての部品が取り付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆取付けネジが所定の位置に取り付けられているか確認してください。
- ◆ネジのゆるみや枠のガタつきがないか確認してください。
- ◆扉の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

### ＜お手入れ方法＞

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。

### ＜使用上のご注意＞

- 扉の近くでストーブなどのご使用はお避けください。  
(扉が反ったり、表面がゆがんだりする原因になります。)
- 扉や枠の清掃には、シンナーなどの薬品を使わないでください。